

大郷小中学校 スクールバスの現状

運行の基本構成と対象



運行路線

小学校：A～Gの7路線
中学校：A～Bの2路線
(大松沢地区対象)



委託事業者

アスカ観光バス (A-C)
中川観光バス (D-G)
計11台の民間車両



利用対象・料金

小学校：通学2km以上
中学校：大松沢地区
利用料金：なし(全額公費)

令和6年度 利用登録者数内訳

路線名 (経由地)	小学校	中学校	合計登録数
A路線 (郷和荘～大窪城址)	32名	10名	42名
B路線 (上町～法堂)	27名	12名	39名
G路線 (鶉崎)	35名	-	35名
E路線 (川内～味明)	34名	-	34名
その他路線 (C, D, F)	60名	-	60名
合計	188名	22名	210名

路線別：登録数と実乗車数の乖離 (登校平均)



※平均利用率は約68%。登録人数に対し、実際の乗車密度には余裕がある状態。

時間帯別利用の課題

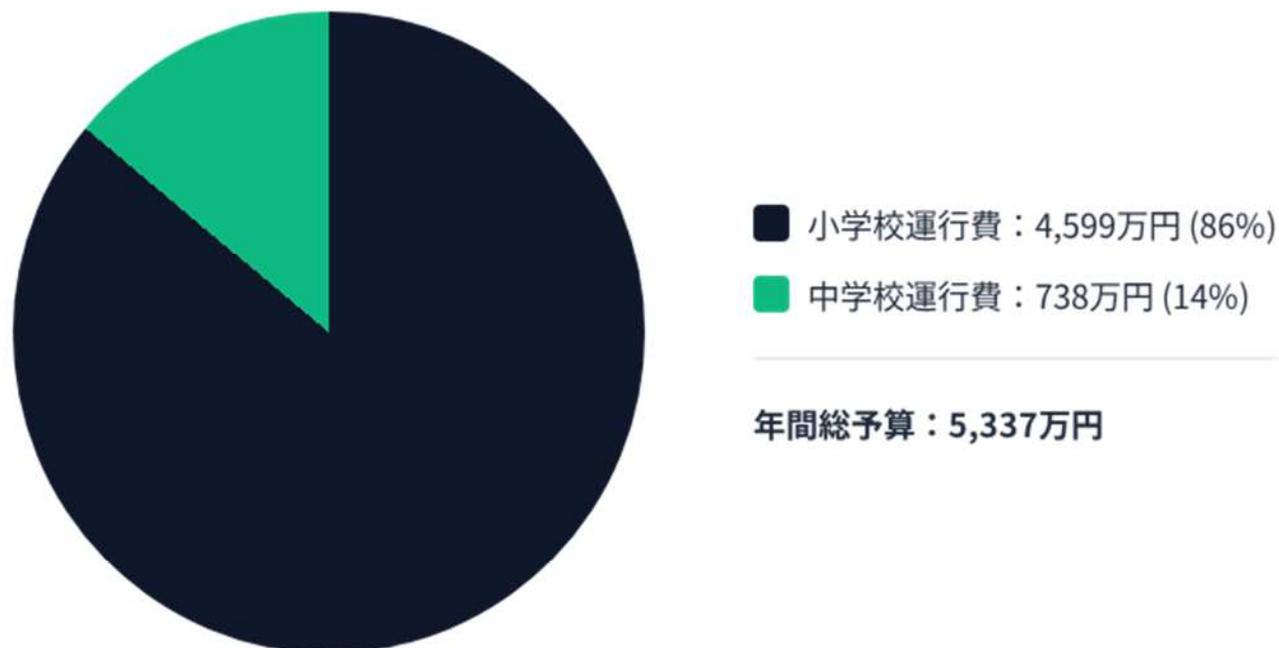
下校便の分散化による非効率

登校便は登校時刻が一定のため、利用率が約80%と高い水準を維持しています。

一方で下校便は「下校1・2・3」と分散。特に**小学校の下校3（遅便）**は利用者が極端に少なく、1便あたりの輸送コストが上昇する要因となっています。

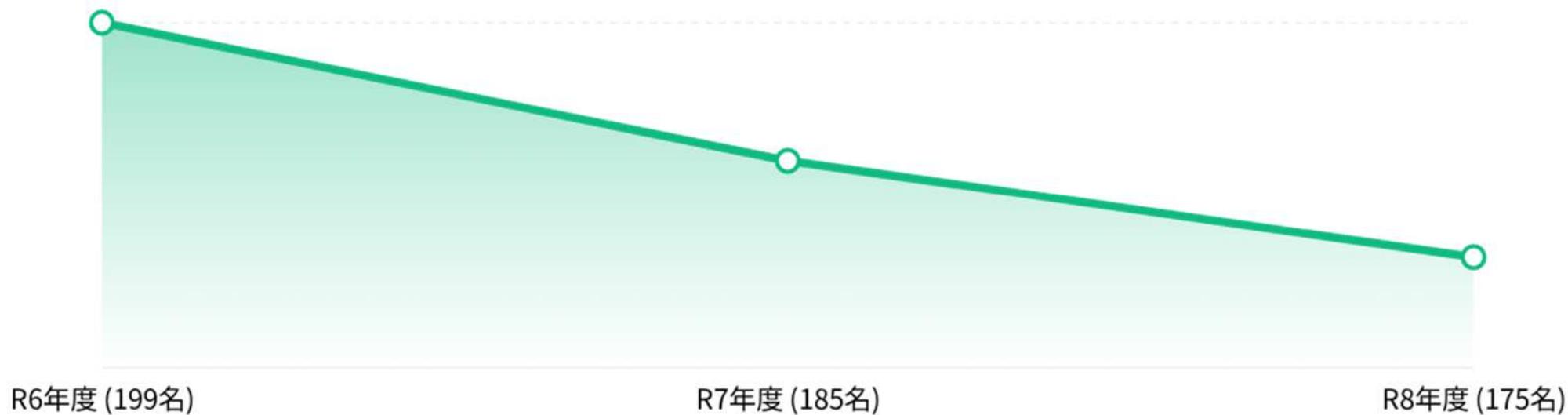
	小学校									中学校						路線 下校計	
	利用 登録 A	日数 B	下校1	下校2	下校3	下校 合計 F	1日 平均 G(F/B)	利用率 H(G/A)	利用 登録 a	日数 b	下校1	下校2	下校3	下校 合計 f	1日 平均 g(f/b)		利用率 h(g/a)
A 路線	32	201	1,412	1,631	221	3,264	16.2	50.7%	10	196	303	527	482	1,312	6.7	66.9%	4,576
B 路線	27	201	1,533	1,649	207	3,389	16.9	62.4%	12	196	250	446	502	1,198	6.1	50.9%	4,587
C 路線	19	201	1,460	871	0	2,331	11.6	61.0%									2,331
D 路線	23	201	1,329	1,351	0	2,680	13.3	58.0%									2,680
E 路線	34	201	1,976	2,067	0	4,043	20.1	59.2%									4,043
F 路線	18	201	735	652	0	1,387	6.9	38.3%									1,387
G 路線	35	201	2,216	2,080	0	4,296	21.4	61.1%									4,296
合計	188	—	10,661	10,301	428	21,390			22	—	553	973	984	2,510			23,900

運行委託費の予算構成



全額町負担による「実質無料」での運用。乗車1回あたりのコスト管理が重要。

少子化に伴う利用登録者の減少推移



2年間で約12%の減少。1台あたりの輸送効率がさらに低下するリスク。

運営体制の構造的課題

-  **運転手の高齢化**：委託先の平均年齢は62～67歳。次期契約（R9以降）に向けた担い手確保が困難になる見通し。
-  **車両スペックの固定化**：中型～大型車両を多用しているが、実乗車数10名以下の路線では空席が目立ち、維持費が無駄になっている。
-  **停留所と生活動線の不一致**：習い事や塾などの放課後活動の多様化に対し、既存路線の固定ダイヤでは対応しきれていない。